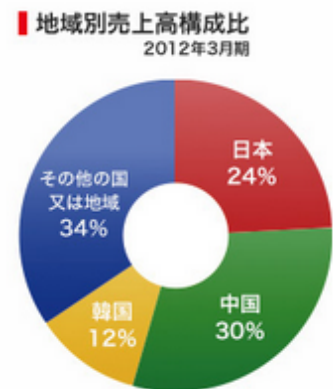
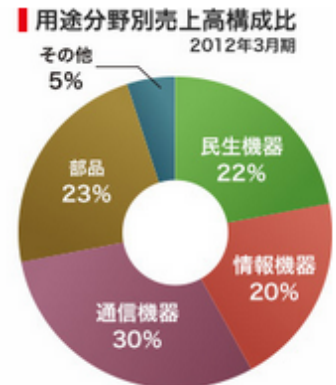


営業概況

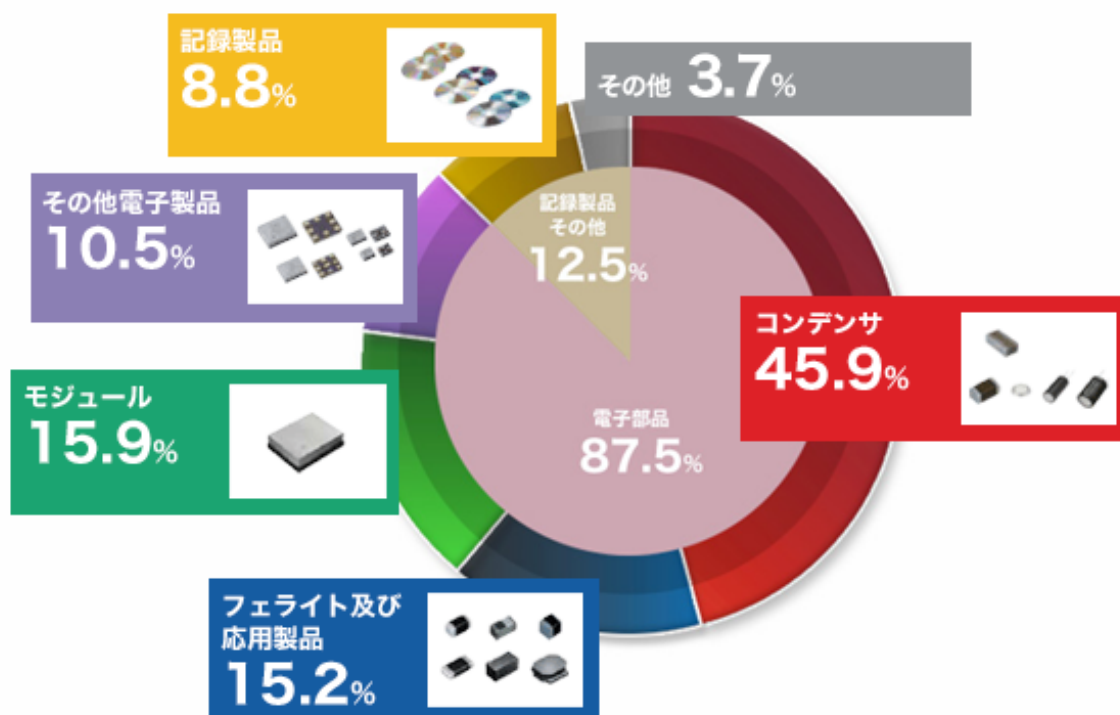
業績ハイライト



太陽誘電グループの事業セグメントは「電子部品事業」と「記録製品その他事業」の2つです。「電子部品事業」はコンデンサ、インダクタ、SAW/FBAR デバイスなどの電子部品の製造販売、「記録製品その他事業」は記録製品の製造販売およびその他の事業です。

2012年3月期は、スマートフォンやタブレットPCの市場が堅調に拡大したものの、PCや液晶パネルの在庫調整により、電子部品の需要は低調に推移しました。そのような状況のもと、「電子部品事業」においては、小型大容量積層セラミックコンデンサやSAW/FBAR デバイスなどのスーパーハイエンド商品を中心に生産体制を強化し、主に需要の拡大が続くスマートフォン市場向けの商品を提供してきました。また、「記録製品その他事業」においては、2011年3月期に構造改革を実施した記録製品事業の黒字化に取り組みました。しかしながら、2012年3月期の連結売上高は、前年同期比12.6%減の1,837億95百万円にとどまり、営業損失は80億10百万円(前年同期は営業利益87億92百万円)、経常損失は90億70百万円(前年同期は経常利益67億40百万円)となりました。また、希望退職者募集に伴う退職特別加算金等の事業構造改善費用の発生や繰延税金資産の取り崩しにより、当期純損失は215億99百万円(前年同期は当期純損失55億6百万円)となりました。

## ■ 製品別売上高構成比 2012年3月期



【ご注意】上記の製品区分は 2012 年 3 月期のものです。2013 年 3 月期より、以下のように変更しました。

## 「モジュール」から「複合デバイス」へ事業構造を変革します

2012年3月期まで

事業セグメント	製品区分	主要製品
電子部品	コンデンサ	積層セラミックコンデンサ エネルギーデバイス
	フェライト及び 応用製品	積層チップインダクタ 巻線インダクタ
	モジュール	電源モジュール 高周波モジュール 部品内蔵配線板
	その他電子部品	SAW/FBARデバイス アンテナ、セラミックフィルタ
記録製品 その他	記録製品	CD-R、DVD-R、BD-R
	その他	関係会社の外部顧客に対する 事業



2013年3月期から

事業セグメント	製品区分	主要製品
電子部品	コンデンサ	積層セラミックコンデンサ
	フェライト及び 応用製品	積層チップインダクタ 巻線インダクタ
	複合デバイス	SAW/FBARデバイス アンテナ、セラミックフィルタ 電源モジュール 高周波モジュール 部品内蔵配線板
	その他電子部品	エネルギーデバイス
記録製品 その他	記録製品	CD-R、DVD-R、BD-R
	その他	関係会社の外部顧客に対する 事業

## 電子部品

## コンデンサ

## 主な生産品目

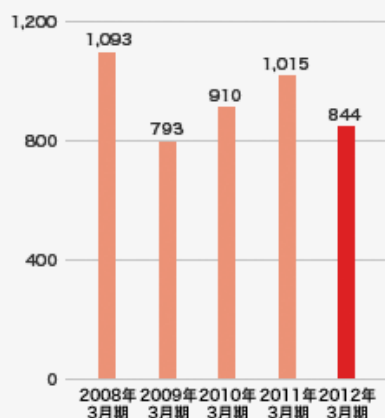
積層セラミックコンデンサ  
エネルギーデバイス\*  
(ポリアセンキャパシタ、リチウムイオン  
キャパシタ)

2012年3月期売上高

**844億円**

## ● 売上高の推移

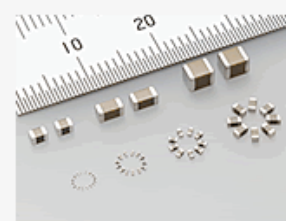
(億円)



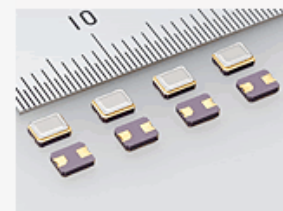
2012年3月期は、テレビなどの民生機器向け、PCなどの情報機器向け、液晶パネルなどの部品向けが前年同期に比べて減少し、売上高は844億61百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

2013年3月期は、スマートフォンやタブレットPCといった伸び筋機器に向けて、0402サイズ(0.4mm×0.2mm)や0603サイズ(0.6mm×0.3mm)の超小型品をはじめとするスーパーハイエンド商品を積極的に市場投入し、需要拡大に対応していきます。また、100 $\mu$ F以上の大容量品を電解コンデンサ市場へ積極的に展開して、積層セラミックコンデンサ市場の拡大を促進し、いっそうの成長を目指します。さらに、産業機器や自動車、ヘルスケアといった高品質市場への参入に力を注ぎ、この市場向けの商品ラインナップを充実させていきます。

生産体制については、これまで国内で生産していたハイエンド商品を海外へ移管することを含め、国内外の拠点を最大活用してよりいっそう効率よく生産するよう努めます。



積層セラミックコンデンサ



角型ポリアセンキャパシタ

\*2013年3月期から、エネルギーデバイスは「其他電子部品」に区分変更となりました。

## フェライト及び応用製品

## 主な生産品目

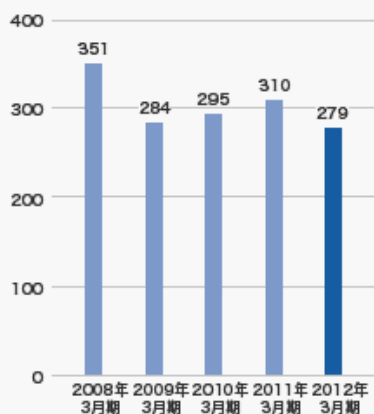
積層チップインダクタ  
巻線チップインダクタ  
SMD パワーインダクタ  
コモンモードチョークコイル

2012年3月期売上高

**279億円**

## ● 売上高の推移

(億円)



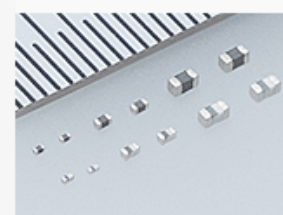
2012年3月期は、テレビなどの民生機器向け、PCなどの情報機器向け、スマートフォンなどの通信機器向け、液晶パネルなどの部品向けが全て前年同期を下回り、売上高は279億29百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

2013年3月期は、これまで以上にお客様のニーズに合致したスーパーハイエンド商品を提供していきます。高周波積層チップインダクタおよび積層チップビーズについては、超小型である0402サイズ(0.4mm×0.2mm)の商品ラインナップを拡充します。また、メタル系新材料を使用していっそうの小型大電流化を可能としたパワーインダクタ「MCOIL®」の商品開発を継続し、戦略的な市場投入と生産能力の拡大を図ります。

生産体制については、コンデンサと同様に国内外の拠点を最大限に活用した高効率生産に努めます。



小型パワーインダクタ



積層チップインダクタ

## モジュール

## 主な生産品目

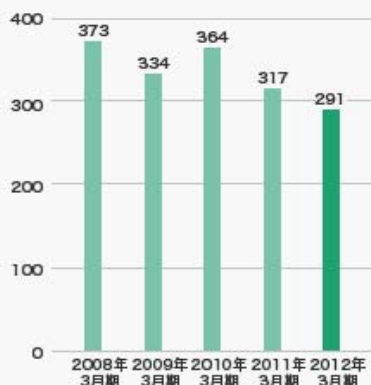
電源モジュール  
高周波モジュール  
部品内蔵配線板

2012年3月期売上高

**291億円**

## ● 売上高の推移

(億円)

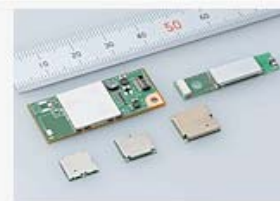


## 複合デバイス

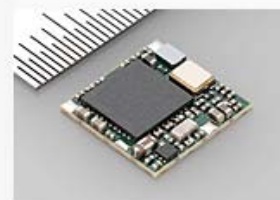
2013年3月期より製品区分を変更し、「複合デバイス」となりました。

2012年3月期は、高周波モジュールの売上が前年同期を上回りましたが、電源モジュールが減少し、売上高は291億66百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

2013年3月期より製品区分を変更し、「複合デバイス」となりました。これは、従来のモジュールを中心としたビジネスモデルから複合デバイスへ事業構造を変革するためです。これにともない、SAW/FBAR デバイス、アンテナ、セラミックフィルタが新たに当区分に加わりました。SAW/FBAR デバイスについては、スマートフォンならびにタブレット PC の市場拡大および機器への搭載点数の増加に対応した生産体制を構築していきます。また、太陽誘電オリジナルの技術から生まれた部品内蔵配線板「EOMIN®」を用いたスーパーハイエンド商品の積極的な市場投入と、エネルギー市場に向けた再生システム等の電源事業に注力していきます。

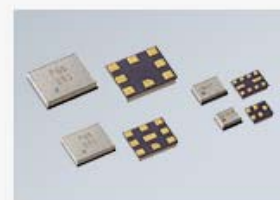


高周波モジュール



部品内蔵配線板「EOMIN®」

2013年3月期から、新製品区分「複合デバイス」に SAW/FBAR デバイス、アンテナ、セラミックフィルタが新たに加わりました。



SAW/FBARデバイス

## その他電子部品

## 主な生産品目

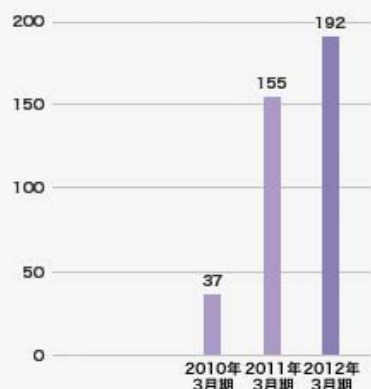
SAW/FBAR デバイス  
アンテナ、セラミックフィルタ

2012年3月期売上高

**192億円**

## ● 売上高の推移

(億円)

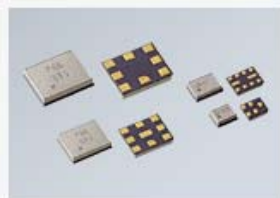


2011年3月期から区分変更したため、3期分のみ掲載しています。

「コンデンサ」「フェライト及び応用製品」「モジュール」の区分に属さない電子部品です。

2012年3月期は、SAW フィルタなどの SAW/FBAR デバイスの売上が前年同期に比べて増加し、売上高は192億94百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

2013年3月期から製品区分の変更にともない、従来「コンデンサ」に含まれていたエネルギーデバイスが当区分に加わりました。今後も成長が期待されるエネルギーデバイスの商品開発に取り組むとともに、先端技術分野における用途開発、エネルギー分野への拡販を展開していきます。



SAW/FBARデバイス

2013年3月期からエネルギーデバイス(ポリアセンキャパシタ、リチウムイオンキャパシタ)が加わりました。SAW/FBAR デバイス、アンテナ、セラミックフィルタは「複合デバイス」に区分変更しました。



薄型ポリアセンキャパシタ

## 記録製品その他

## 記録製品

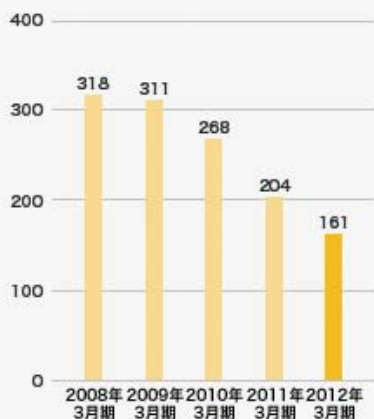
## 主な生産品目

CD-R DVD-R BD-R

2012年3月期売上高

**161億円**

## ● 売上高の推移 (億円)



2012年3月期は、BD-Rの売上は堅調に推移したものの、CD-R、DVD-R/DVD+Rの売上が前年同期を下回り、売上高は161億52百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

2013年3月期も引き続き、コンシューマ用途を中心としたCD-R、DVD-R、BD-Rの黒字化に取り組むとともに、高信頼性が求められるアーカイブ用途の市場を創出していきます。



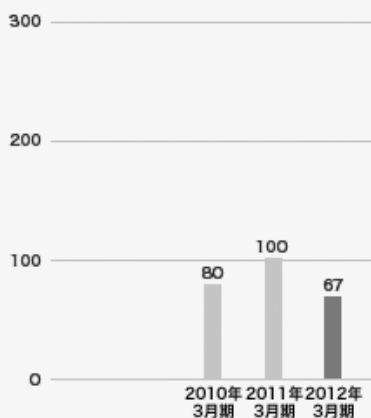
DVD-R、BD-R、CD-R

## その他

2012年3月期売上高

**67億円**

## ● 売上高の推移 (億円)



2011年3月期から区分変更したため、3期分のみ掲載しています。

主なものは関係会社における実装事業です。

2012年3月期の売上高は67億91百万円(前年同期比32.4%減)となりました。